

「親の雑誌」原稿作成における当社指針

原稿をご確認いただくにあたり、当社が「親の雑誌」の誌面作成で心がけていることや原稿作成の指針、漢字・数字の表記について、以下ご案内いたします。

●文体、文章について

「親の雑誌」は、お話しいただいた内容を「聞き書き」として、基本的にそのまま記事にしています。お子さんやお孫さんにとって、読むとご本人の声が聞こえてきて、その場で話しているような雑誌にしたいという考えからです。

このため、方言や一人称の表現（おれ、わし、私、など）などをあえて残して「語り口調」で文章を作成し、ご本人らしさを随所に感じていただける雑誌作りを目指しております。

●漢字表記について

「親の雑誌」の表記は、全国の新聞および雑誌、広告、放送業界で使用されている「記者ハンドブック 新聞用字用語集」（発行：共同通信社）に準拠しております。※一部、当社独自基準

（例） 「おやし」「おふくろ」「ころ」「とき」「子どもたち」

●数字表記について

制作の都合上、縦書きの原稿では「全角洋数字」、横書きの原稿では「半角洋数字」を用いております（ことわざや慣用句など漢数字を用いる箇所もあります）。

※インタビュー内容の修正や削除、文章の追加などのご指摘は直接原稿にご記入ください。原則として、そのまま反映いたします。

※文体や漢字・数字表記など、全般的なご要望がございましたら、同封の【返信票】（または直接原稿）にご記入ください。

漢字・数字表記については基本的にご要望を反映いたします。その他のご要望についても検討の上で進めてまいります。内容によってはお応えできない場合もありますので、なにとぞご了承ください。